

情報文化学会

第 34 回全国大会予稿集

Zoom アクセスコード 不記載版

2026 年 10 月 31 日（土）
オンライン開催

本書の概要

- オンラインでの参加者・発表者向けマニュアル
- 情報文化学会第 34 回全国大会 プログラム
- 全国大会準備（合同）委員会
- パネルディスカッション
- セッション発表予稿
- 情報文化学会 顕彰

オンラインでの参加者・発表者向けマニュアル

参加と発表

- 本大会は Zoom を用いて実施いたします。以下よりアクセスをお願い致します。

午前の部（昼休みまで）

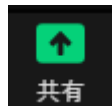
- ・アクセスコードは、前日までに、jics.taikai@gmail.com にお問い合わせください。

午後の部（昼休み後）

- ・アクセスコードは、前日までに、jics.taikai@gmail.com にお問い合わせください。
- 当日、それぞれ 15 分前から部屋は開いております。
- 参加にあたっては、「マイク」と「ビデオ」はミュートに設定し、発言および発表時のみ「マイク」のミュートを解除して下さい。

発表の流れ

- 発表 18 分、質疑 5 分、交代 1 分の、計 24 分で行います。
 - 15 分・18 分経過後、それぞれ時間経過のアナウンスを行います。
- 発表者は、「マイク」のミュートを解除し、使用するスライドを「画面の共有」で表示して下さい。
 - 「画面の共有」は、ミーティングコントロールにあります。



- こちらをクリックした後に、「共有したいファイル」か「画面」を選択し、ダイアログ下の「共有」ボタンを押します。
- 発表終了後には、「画面の共有」を解除して下さい。
 - 共有メニューにある「共有の停止」をクリックすると、共有は解除されます。



質疑について

- 質疑の時間になりましたら、質問やコメントがある方は「マイク」のミュートを解除して「質問よろしいでしょうか」と座長に呼びかけ、座長の指示に従い、質問やコメントを行って下さい。

トラブルシューティング

- 音声聞こえない
 - PC やスマートフォン自体のスピーカーがミュートになっていないかを確認して下さい。
- カメラやマイクが起動しない
 - PC やスマートフォンの設定から、Zoom がアクセスできるようになっているか確認して下さい。
 - 例:Windows の場合
Windows の設定>プライバシー>「カメラ」or「マイク」
「アプリがカメラ・マイクにアクセスできるようにする」をオンにしてください。

■ 画面が反転して見える

- 自分には反転して見えていても参加者には読めるように映っています。「ビデオの開始/停止」ボタン右の「^」ボタン→ビデオ設定→ビデオ→「マイビデオをミラーリングします」のチェックをオフにすると自分の画面も反転せずに見えます。

当日連絡先

- 何らかの問題が生じた際には、以下に連絡をお願い致します。

稲垣秀人（大会実行委員） jics.taikai@gmail.com

情報文化学会第 34 回全国大会 プログラム

【受付開始】 9:15～ オンラインでの実施

- 大会参加費 | 無料
- 参加方法 | Zoom で開催
 - 「午前の部」(昼休み前)と「午後の部」(昼休み後)の2つのアクセスコードをお伝えします。昼休みに「午前の部」のミーティングを閉じます。
 - 昼休み以後、「午後の部」のアクセスコードでアクセスしていただきます。
- アクセスコードのご連絡について
 - 座長、発表者、大会実行委員、役員には直接ご連絡いたします。
 - その他会員の方につきましては、
事前に連絡をいただいたかたにお伝えいたします。
jics.taikai[at]gmail.com にご連絡下さい。*[at]はアットマークに置き換え

【大会プログラム】

- セッションでの発表時間 | ひとり計 23 分 (発表 18 分, 質疑 5 分, 交代 1 分)

9:30-9:40	開会挨拶・進行上の注意 大会実行委員
9:41-11:13	第1セッション
	テーマ 人口動態と世代の実態
	座長 未定
	「情報文化三系モデルによる少子化の社会的要因の再整理 ー情報文化の変容とソーシャル・キャピタルに着目してー」 Chan Myae Khin、符儒徳 (以上、開智国際大学国際教養学部)
	「都市における転居行動の分析」荒川 清晟 (西宮市)
	「量的調査票における若者の世帯収入項目の「わからない」「無回答」 に関する分析」小西 凌 (三重大学大学院地域イノベーション学研究 科 協力研究員)
	「ウェアラブルデータと生成 AI 対話による高齢者の健康行動支援」 田中大喜、森田佳乃子 (以上、名古屋大学大学院情報学研究科) 堀涼 (椋山女学園大学人間学・ジェンダー研究センター) 錢本友樹 (名古 屋大学大学院情報学研究科) 井上愛子 (名古屋大学未来社会創造機構 予防早期医療創生センター) 林尊弘 (愛知医療学院大学リハビリテー ション学部) 東中竜一郎、遠藤守、浦田真由 (以上、名古屋大学大学院 情報学研究科)

11:23-12:50	第2セッション
	テーマ デジタル化と組織・制度の対応
	座長 未定
	「府省等の Web サイト運用における CDN 利用の現状」 本田正美（関東学院大学）
	「AI・DX 時代における企業の戦略的人材成長基盤 — 生成 AI 活用をめぐる人材育成・組織支援の理論的検討」 大嶋 淳俊（宇都宮大学データサイエンス経営学部・大学院地域創生 科学研究科）
	「制度＝時空の不均衡動学モデルに関する一考察」 村舘靖之（茨城大学人文社会科学分野）
12:50-14:00	「地域の高校生によるデジタル相談会の実施方法の考察～複数地域での実践を通じた比較検討～」 外村奏太（名古屋大学大学院情報学研究科）森田佳乃子（名古屋大学 大学院情報学研究科）堀涼（椙山女学園大学人間学・ジェンダー研究 センター）浦田真由、遠藤守（以上、名古屋大学大学院情報学研究科）
	昼休み
14:00-14:30	総会
14:40-16:10	パネルセッション
	テーマ 感性および創造性と情報文化学 — 基礎情報学における意味や価値に基づく考察
	座長：大井奈美（山梨英和大学）
	発表者
	原島大輔（立教大学）：感性について （大井奈美・原島大輔編『基礎情報学のポイエーシス：感性と創造性 について』東京大学出版会、2026年、第1部に基づいて）
	西田洋平（東海大学）：創造性について（同書第2部に基づいて）
	棕本輔（デザイン事務所代表・立命館大学他）：感性と創造性をめぐる 応用研究について（同書第3部に基づいて）
	コメンテーター：安藤元博（大妻女子大学）

16:20-17:29	午後セッション
	テーマ 文化の継承と創造
	座長 稲垣秀人（東京大学大学院教育学研究科）
	「科学館と芸術はいかに関わるのかー展示・教育実践の境界をめぐってー」立石祥子（情報科学芸術大学院大学 メディア表現研究科）
	「地域文化の活性と継承におけるメディアの役割～富山県上市町の事例から」甕佳代子（城西国際大学メディア学部）
17:30-17:40	「伝統芸能の対話型 AI 教材による郷土愛の醸成と継承循環モデルの構築に関する構想」山田雅敏、酒井郷平、澁谷和樹、小豆川裕子、望月たけ美（以上、常葉大学）
	閉会挨拶 大会実行委員長

全国大会準備（合同）委員会

- 全国大会実行委員会委員長
- 辻本篤 | 学会会長、ニューズレター編集委員会委員長
- 実行委員
- 吉田友敬 | 学会副会長
- 李穎清 | 学会誌編集副委員長
- 大久保博樹 | 会計委員会委員長
- 本田正美 | 選挙管理委員会委員長
- 安岡寛道 | 顕彰事業選考委員長
- 坂本眞一郎 | 監事
- 大井奈美 | 学会誌編集委員
- 稲垣秀人 | 関東支部支部長
- プログラム委員長
- 山下倫範
- 総務委員会委員長
- 遠山茂樹